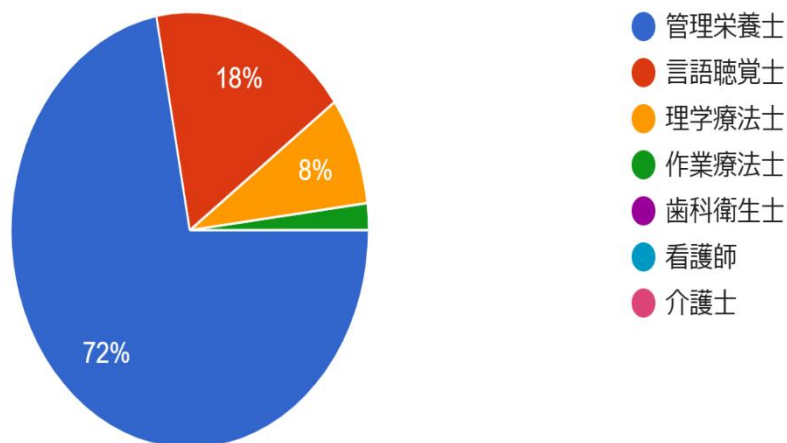


2025年3月21日(金)

栄養部会・リハビリ部会合同研修会アンケート結果

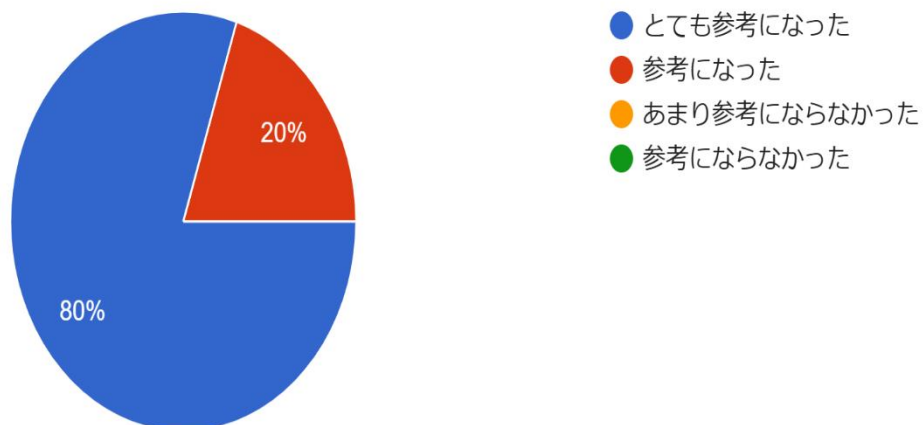
質問1：ご職業をお伺いします

50件の回答



質問2：本日の講演は参考になりましたか？

50件の回答



質問 3:理由・感想などご記入下さい

50 件の回答

実際に水のみテストをやったことなかったのでもいい経験になった。

ビデオを観れたのが、勉強になりました

他職種に対してどのように声掛けしたら良いかなど参考になりました。

どこでも、大変だと思いました。

VE.VF という言葉は知っていたが、実際に動画を見たことがなかったので、とても勉強になりました。

実技で学ぶことができ参考になりました

少数職種でなかなか話し合いの輪に入れてもらえないことや頼ってもらえないことがあるため、本日の研修の内容を生かして声掛けの仕方を工夫していきたいと思いました。

私たち栄養士も言語聴覚士も一つの職種でたが、他と比べて人数が少なく理解をしてもらうのが大変と感じていたので、戦略的なものを聞いて参考になった

他職種との関わりの仕方などの課題的な例や、評価項目が明確でわかりやすかったため

ミールラウンドで注意してみる点等、すぐに実践しやすい内容だった。

管理栄養士でも怪しいを見極められるポイント

机上ではなく実技でテストができてよかったです。

観察のポイントなどわかりやすかった。

水飲みテストを初めてやってみて、水を口に入れることが意外と難しかったため、練習が必要だと思った。少数職種が多職種と関わる時には、相手の職種がよく分かっていることなどについて聞いてみると良い情報が得られるということがためになった。

摂食嚥下について、今まで知らなかったことを詳しく知ることができました。また、他職種の方との関わり方についてもポイントを知ることができ、なるほどと思えることがたくさんありました。

少数職種の対応方法などがわかりやすかった

具体的なお話、VF VE の画像供覧などがあり、とてもわかりやすかったです。

多職種とも共有しやすいポイントや具体的な言い回しなどもスライドでまとめて下さり、良い気づきを与えて頂きました。

他職種との関わり方が具体的な例文がありとても参考になりました。

スクリーニングテストを実際に行えてとても参考になりました

嚥下評価方法に興味、悩みがあったため

嚙下はもちろん、少数職種として他職種との関わり方について学ぶことができた。知識をつけることと、他職種に伝達・連携すること、どちらも欠かせないことだと改めて学んだ。

声が小さい、呂律がまわらない人は注意するのはわかりやすかった。

他職種への声がけなど、具体例があり分かりやすかった。また誤嚥の VE は日本摂食・嚙下リハ学会でも見られますが、なかなか時間もとれなく観られないので改めてこういう場でピックアップしてみせていただき、ポイントについても解説して頂いたので理解出来ました。

現場あるある事例

実際に VEVF を使用して機能的なことを聞けてとても勉強になった
すぐに実践できそうな内容でした。

参考になりました、ありがとうございました。

共感できることが多く、今後に活かしたいと考えられる内容でした。普段の仕事にも活かせるようなことが多くありがたかったです。

改訂水飲みテストを実際にできて良かったです

水飲みテストの体験ができて良かったです。他職種への情報の伝え方も参考になりました。

STがない施設のため嚙下の講和がとても貴重でした

スクリーニングテストの実技を初めて行いました。評価方法がよくわかりました。

現場での他職種連携に役立つお話が聞けました

現場であるある事例が、わかりやすかった

改定水飲みテストは初めてしたので体験できてよかった。

介護職とのやりとりのご経験談が非常に参考になりました。

評価の見方や、評価の方法についてより具体的にわかることが出来ました。

映像や実技があって分かりやすかった

公演の読み原稿にない、エッジの効いた経験論が交わって、共感とともに「返し」と「営業」は明日から実践できる貴重な講義でした。

ミールラウンドの見方が幅広くなれそう。

講師の先生が ST さんと言うことで、職種ならではの気持ちを知る事が出来ました、また介護職への具体的なお返事の仕方など教えていただき大変参考になりました

ナースやワーカーさんにどのようなコミュニケーションをとれば伝わりやすいかを知れてよかった

実際に VE や VF の映像を説明と一緒にみる事ができて、良かったです。

わかりやすく、試してみたくくなりました。

他職種への具体的な声掛けを知ることができ、大変勉強になりました。職場で活かしていきたいと思います。

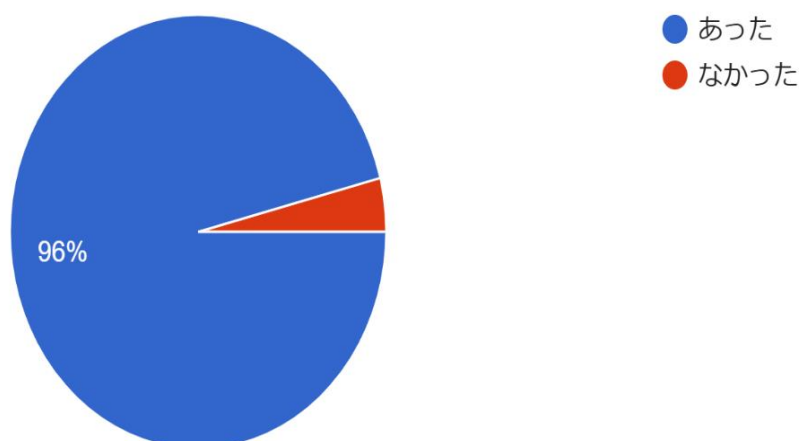
少数職種の仕事進め方や実践的な実技がわかりやすく学べました

他職種へ伝えるときのポイント、食事観察のポイントがとてもわかりやすく、介護さん達にも伝えたいと思いました。

勉強になりました。

質問4：新たな学びはありましたか？

50 件の回答



質問 5:あるとお答えの方はご記入下さい

50 件の回答

他職種と話をする時のポイントなど聞けてよかった。

画像を見るよりはっきりと観えた

漠然とした質問には漠然とした回答しか得られないことがわかりました。

うまくいかなかった事を覚えておられて、素晴らしいと思いました。

食事介助の際に全量摂取と記載があっても、誤嚥してるリスクは高いと感じました。

現場に戻ったら食事の様子や普段の様子を観察しようと思います。

他職種から発信してもらえるような関係を築くために上手に営業していきたいと思いました

水飲みテストは初めて実践し、評価のやり方を学ぶことができた。

改訂水飲みテストなど、頭ではわかっていたが、実際に験者になったことがなかったので、気持ち含めてよくわかった

VF.VE の様子 スクリーニングテスト方法

多職種との生存戦略

むせずに、誤嚥してる、食堂通過していても一部誤嚥することを映像でみれて、記憶に残った

評価の仕方

声が小さい方は誤嚥してもムせる力が十分でない可能性があるため誤嚥のリスクが高いということ。

口を開けて寝ているということが誤嚥のリスクを考えるきっかけになること。ST でなくても、水飲みテストを実施してスクリーニングが行えること。

食事形態のアップ方法

現場に帰り早速本日のお話を生かします。とくにチームで動くためのやり取りが参考になりました。

ノーマークだったご利用者に何点か該当することがあり、よりミールラウンドで気をつける視点が増えました。

ST の摂食嚥下評価でどこを見ているかが新たな学びとなりました。

食形態の変更時の注意点がとても参考になりました

嚥下評価方法

スクリーニング実技 各職種の日常業務の中で得られる気づきを考え、負担のない範囲で情報を得ることが大切

嚥下機能見るポイントがわかった。

食事の観察ポイント

食形態の下げ方

テスト方法

ミールラウンド時の視点を変えられそうです。

スクリーニング実技は行ったことがなく勉強になった

他職種への説明方法や説得の仕方など

夜間口を開けて寝ている人を CW に今度聞いてみようと思います

介護職への嚥下評価依頼について

質疑応答で食上げのタイミングを知ることが出来た

スクリーニング実技

他職種への提案の方法を学ぶことができました

介護職への働きかけ等

形態アップをする際に主食の方が物性が安定しているからリスクが低いのではないかという話は参考になった。誤嚥しないと確実に言えることはない為やらないと分からないという話も形態アップを考える際に参考にしてモニタリングをしっかりとやろうと改めて思えた。

介護職に寄り添った返しと営業

水飲みテスト

水飲みテストを実際にできてよかったです

VE と VF の映像はリアル

飲み込んでいるようで飲み込めていない事がある事を知った。

臥床時の開口や口腔残さを次のケアに繋げる声かけが学びました

VEVF の画像をみたことで、改めて不顕性誤嚥の可能性を視野に入れて評価しようと思った

他職種との関わり方を改めて考えられました。聞き方など明日から改善していきたいです。

水飲みテストのやりかたがより深く知れた

介護さんへの食事ワンポイント評価

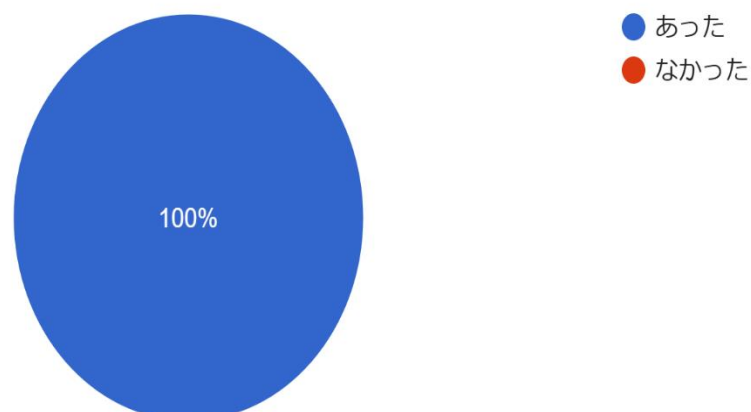
他職種への提案の仕方はすぐに使ってみたいと思いました

観察のポイントがわかりやすかった

次回介護のかたに講習会をひらくため、参考にしようと思います

質問6：自施設で実務に活かせる内容がありましたか？

50 件の回答



質問 7: あるとお答えのかたは内容をご記入下さい

50 件の回答

話し方など気にしながらやってみたい

水飲みテストや声のかけ方

介護士、看護師さんを通して利用者さんに届けるように努めたいです。

介護施設と老健のスタッフさんの違いを想像することができました。

声が小さい、活動量が小さい等はリハビリでも改善を促すことができるので、実践しようと思います。

摂食嚥下評価が参考になりました。資料でいただいたものを参考にしたいと思います。

声掛けの工夫など生かしていきたいと思った。

他職種との連携

評価の仕方や、スクリーニング

食上げのタイミングについて

誤嚥しているかもの見極めポイント

評価

食事時の評価として、咀嚼時に口が開いているか、顔をしかめているか、食事時の水分摂取状況などを意識して観察していきたい。

介護さんから食形態について問われた時やご利用者の食形態を決める上で、より慎重に考えてお伝えできると思った。

食事形態のアップ方法

問い 5 に同じ

食事以外のチェックポイントについては多職種で共有していきたいと思いました。

呂律が回らない方、声が小さい方など注意して観察してみたいと思います。指示が入る方は反復唾液嚥下テストも試してみたいと思いました。

声かけ方法は試してみようと思いました

摂食嚥下評価

「活動量が少ない、声が小さい、呂律が回らない」利用者様にも注意を向け、不顕性誤嚥に注意していく。経口維持加算取得者の見直し

嚥下機能見るポイントがわかった。

経口維持加算をとるつもりなので、水飲みテストは改めて復習できよかったです。

職員への対応

RSST

STの先生が週に一度しかいらっしやらないので、日頃の嚥下評価に繋がられそうです。

他職種との関わり方として、返しや営業の内容を活かしていきたい

いつも、食形態変更のタイミングに悩むので、質問の返答での「Excelで表を作成して関連職に提示する」という方法が大変為になりました。普段の仕事に活かしていきたいと思います。

頸部前屈位など日頃の姿勢にも着目してみようと思います

介護職への嚥下評価依頼について

嚥下の際のスクリーニング

経口維持会議で評価方法を理解することが出来る

他職種に観察してもらった具体的な方法がわかり良かったです。実践していきたいと思っています。

食形態の下げ方

上記の通りモニタリングをしっかりとやろうと思った。

VFやVEの映像と合わせた説明は説得力があり、施設内勉強会で行ってみたいと思いました。

改定水飲みテスト

食事介助時に喉を触って確認する

返しと営業の具体例

食上げのヒント

口腔内の残渣は聞いて見ても良いかと思う

他職種とのコミュニケーション

摂食・嚥下の評価の様式などミールラウンドの参考にさせていただきます。

観察のポイント

他職種への具体的な声掛けの仕方

水飲みテストの実技

食事や生活場面での観察ポイント

質問 8: その他、講演に関するご意見、感想等あればご記入下さい

15 件の回答

先生の経歴について説明があるといいなと思いました
パワーポイントの資料が欲しかった。

日々の仕事をしているだけでは身につかないとても勉強になる講演でした。ありがとうございました。

またこのような研修の場を設けていただきたいです。

他職種との関わり方のポイント、vf.ve の動画もみることができ大変勉強になりました。ありがとうございます。

講演内容がとてもわかりやすく、普段から多職種との関わりを模索し、お声かけの方法・連携の取り方を考えられているのだということが伝わってきました。専門職という自覚を持ち、今一度多職種連携のあり方について考え直したいと思います。質問なのですが、経口維持のラウンド等で頸部聴診法を用いて、目に見えない異常を察知していきたいと考えてきます。今回ご紹介はありませんでしたが、老健における嚥下評価には適していなかったり、もしくは評価項目が煩雑で聴診した人による差が生じやすい等のデメリットがあれば教えていただきたいです。また、きざみ食は口中でばらつき誤嚥のリスクが高いと思うのですが、私の勤める老健では極刻み食とミキサー食を混ぜた刻みとろみ食が提供されています。やはり刻み食は、食材によってはとろみあんをかけてまとめる等の必要がありますでしょうか。質問が多く申し訳ありません。よろしくお願いします。

①水飲みテストはトロミをつけてのテストはいいのでしょうか？ ②経口維持加算を取っていく対象者は、優先順位などポイントがあれば教えて頂きたいです。

ターミナルケアの場合、どの段階で食止めをするのか
勉強になりました。ありがとうございました。

少数職種の働き方について伺うことが出来、とても参考になりました。

改訂水飲みテストや RSST はよく行っていますが、被験者になることは初めてで良い経験になりました。

今後も合同研修があるといいなと思います。栄養、口腔、リハの一体的な部分等
栄養部とリハビリ部とのコラボはとても良い試みだと思いました。

とても分かりやすい講義でした。ありがとうございます

わかりやすく具体的な研修をありがとうございました

質問 9: 栄養部会運営へのご意見があればご記入下さい 11 件の回答

いつもありがとうございます

また摂食嚥下について、講義を行ってほしい

研修の開催ありがとうございます。

大変勉強になりました。どうもありがとうございました。

嚥下関連の研修はとても参考になり、嬉しく思います。

再度嚥下シリーズを企画お願いします

次年度も、研修に参加したいです。

もう少し他施設との情報交換の時間があるといいなと思いました。

リハビリ部に限らず、多部への栄養部からの発信を期待します。

お忙しい業務の中、運営ありがとうございます。

ご協力ありがとうございました